

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	保育・教職実践演習A	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	前期
対象年次	2 年次	科目区分	必修	時間数	1 5 時間
単位数	1 単位	授業形態	演習		
教科書/教材	必要に応じて資料などを配布。				
担当教員情報					
担当教員	三重野 真樹		実務経験の有無・職種	有・保育士	
学習目的					
これまで学んだ知識や技能を基盤に、保育士としての資質や能力を確認し、グループワークや模擬保育（ロールプレイング）により学生自身が自己を分析し、不足している知識や技能等を整理することでき、また、実習に向け基礎的な指導力を身につけるためグループに分かれ実際にグループ内で話し合い、情報収集、創意工夫をもって指導計画を立案し実践することを最終目的とする。保育実践力を高めるためには、自らが行った保育実践を具体的に振り返ることが重要であるため、実践後は反省・評価、改善まで行う。					
到達目標					
保育士の役割、職務内容など責務を理解できる。 学生が模擬保育等を実践することにより学生自身が自己分析を行い不足している知識や技能を把握し述べることができる。 模擬保育の実践までの過程ではグループ内で協調性（他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得る）を大切にし、指導計画を立案し、全員が積極的に模擬保育の役割分担や創意工夫をし参加することができる。 保育実践の反省・評価を生かし、修正指導案を作成することができる。					
教育方法等					
授業概要	これまで学んできた知識や技能を基盤に行われる授業であり、学生が模擬保育等を通して学生自身の自己分析をし不足している知識や苦手分野を克服する場でもある。音楽・造形・運動等の課題をもとに学生がグループに分かれ、指導計画を立案し実践し反省・評価し改善する流れである。情報収集や創意工夫、またグループで実施されるためチームワークも求められる。				
注意点	グループワークが多いため、公平な役割分担が行われるようにする。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業中の私語や携帯電話の使用は厳しく指導する。課題が出た場合は締切日時を守るようにする。期限が過ぎた提出物については受け取らない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	指導計画を参考に評価		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	50%	模擬保育の発表を評価		
	平常点	30%	グループでの貢献度を評価		
授業計画（1 回～8 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	模擬保育体験		学生が子ども役となり模擬保育を体験し内容を分析できる		
2 回	指導計画立案		指導計画立案にむけグループごとに情報収集や話しあいを行うことができる		
3 回	実践向けの準備		教材の準備や練習を行うことができる		
4 回	実践向けの練習		実践向けの練習を行うことができる		
5 回	模擬保育発表グループ1～3		模擬保育を実践することができ、反省評価ができる		
6 回	模擬保育発表グループ4～7		模擬保育を実践することができ、反省評価ができる		
7 回	模擬保育発表グループ8～9		模擬保育を実践することができ、反省評価ができる		
8 回	修正指導案の作成		反省・評価をもとに修正指導案を作成することができる		
9 回					
1 0 回					
1 1 回					
1 2 回					
1 3 回					
1 4 回					
1 5 回					